

授業科目	基礎看護学実習 I	単位数	1	時間数	45
担当講師 (実務経験)	専任教員（看護師 臨床実務経験有） 実習指導者（臨床看護師）				
科目目標	1. 患者の入院生活における生活行動の未充足情報について理解する。 2. 受け持ち患者とコミュニケーションが図れる。 3. 患者に日常生活の援助を基本をふまえながら実施する。 4. 看護学生としての基本的態度がとれる。				
授業内容		授業方法		場所	
1. 患者の入院環境を観察し、必要な援助を考える 2. 患者の入院目的、症状、治療上の制限を理解する 3. 受け持ち患者の日常生活行動を観察し、自立状況を考える 4. 患者の生活上の制約に対する、不自由さ・満足度を考える 5. 患者の行動や態度、表情・言葉を観察する 6. 関係構築のためのコミュニケーションについて、分析・考察する 7. 援助目標を安全・安楽・自立の視点で考える 8. 援助目標を達成するために援助計画を立案する 9. 患者の身体状態を観察する 10. 安全・安楽・自立、効率性・経済性を考え援助を実施する 11. 行った援助に対する自己評価、他者評価からより良い援助に修正する		病院実習 39 時間 実践活動外学習 6 時間		関西労災病院	
評価方法	実習終了後に実習評定表に基づき、実習内容および記録より評価する。				
評価基準	60 点以上で合格				

授業科目	基礎看護学実習Ⅱ	単位数	2	時間数	90
担当講師 (実務経験)	専任教員（看護師 臨床実務経験有） 実習指導者（臨床看護師）				
科目目標	1. 健康障害を持つ患者を生活者として捉えることができる。 2. 患者の日常生活ニーズに応じた援助を計画・実施・評価することができる。 3. 患者との援助的人間関係の構築について考えることができる。 4. 専門職業人としての基本的態度を養う。				
授業内容		授業方法		場所	
1. 患者の疾患や治療を理解する 2. 患者の日常生活の変化を入院前と関連させて考える 3. 患者の日常生活行動をアセスメントする 4. 患者を身体的・心理的・社会的側面から捉える 5. 患者の全体像から日常生活ニーズを明らかにする 6. 患者の日常生活ニーズに応じた援助目標を設定する 7. 安全・安楽・自立を考慮した援助計画を立案する 8. 援助計画に沿って、援助を実施する 9. 行った援助について、評価・修正を行う 10. 患者とのコミュニケーション場面をプロセスレコードを用いて振り返る 11. 体験を通して、患者 - 看護師関係の構築に必要な要素について自分の考えを述べる		病院実習 81 時間 実践活動外学習 9 時間		関西労災病院	
評価方法	実習終了後に実習評価表に基づき、実習内容および記録より評価する。				
評価基準	60 点以上で合格				

授業科目	成人看護学実習 I	単位数	2	時間数	90
担当講師 (実務経験)	専任教員（看護師 臨床実務経験有） 実習指導者（臨床看護師）				
科目目標	1. 生活行動に障害のある患者を理解する。 2. 機能回復を促進、合併症を予防し、生活行動の自立に向けた看護を実施する。 3. 生活行動の自立を目指す患者の看護を振り返り、考察する。 4. 専門職業人としての基本的態度を養う。				
授業内容		授業方法		場所	
1. 患者の身体的理解（疾病、機能障害の程度） 2. 患者・家族の心理・社会的理解 3. 患者の解決能力と限界 4. 看護診断の活用 5. 看護計画の立案 6. 合併症の早期発見や二次的障害を予防する看護 7. 生活行動の自立を目指す患者の看護と考察		病院実習 80 時間 実践活動外学習 10 時間		関西労災病院	
評価方法	実習終了後に実習評定表に基づき、実習内容および記録より評価する。				
評価基準	60 点以上で合格				

授業科目	成人看護学実習Ⅱ	単位数	2	時間数	90
担当講師 (実務経験)	専任教員（当該領域での臨床実務経験有） 実習指導者（臨床看護師）				
科目目標	1. 治癒困難な状態にある患者の全人的苦痛を理解する。 2. 患者・家族の苦痛を緩和し、QOLの維持・向上を支援する。 3. 患者との関わりを通して治癒困難な患者の看護について考える。 4. 専門職業人としての基本的態度を養う。				
授業内容		授業方法	場所		
1. 治療困難な状態にある患者の身体的・精神的・スピリチュアルな苦痛の理解 2. 身体的苦痛・不快を緩和する援助 3. 患者の体力の消耗を最小限にする生活過程を整える援助 4. 患者・家族の意思や希望を支える関りや援助		病院実習 80時間 実践活動外学習 10時間	関西労災病院		
評価方法	実習終了後に実習評価表に基づき、実習内容および記録より評価する。				
評価基準	60点以上で合格				

授業科目	成人看護学実習Ⅲ	単位数	2	時間数	90
担当講師 (実務経験)	専任教員（当該領域での臨床実務経験有） 実習指導者（臨床看護師）				
科目目標	1. 生涯にわたり疾病と共存しながら生活していく患者を理解する。 2. 患者及び家族が疾病や生活の自己管理ができるように援助する。 3. 生涯、疾病と共に生きる患者の看護を振り返り、考察する。 4. 専門職業人としての基本的態度を養う。				
授業内容		授業方法		場所	
1. 患者の理解（疾患のコントロールの程度、生活習慣、発達段階） 2. 疾病や症状に応じた患者の援助 3. 疾病のコントロールに向けた患者・家族の心理的援助 4. 疾病のコントロールに向けた患者・家族の生活の援助 5. 慢性疾患を持つ患者の不安や葛藤についての考察 6. 実施した指導・看護の意味づけ 7. 慢性期における看護師の役割についての考察		病院実習 76 時間 実践活動外学習 (血糖測定演習他) 14 時間		関西労災病院	
評価方法	実習終了後に実習評定表に基づき、実習内容および記録より評価する。				
評価基準	60 点以上で合格				

授業科目	老年看護学実習 I	単位数	2	時間数	90
担当講師 (実務経験)	専任教員 実習指導者 (各実習場所の看護師、介護福祉士等)				
科目目標	1. 地域社会で生活する健康な高齢者について理解する。 2. 施設に入所する生活への支援が必要な高齢者について理解する。 3. 高齢者との関わりを通して、高齢者を尊重する態度(権利擁護)について理解する。 4. 専門職業人としての基本的態度を養う。				
授業内容		授業方法		場所	
1. 現地オリエンテーション 2. 社会参加活動を行う高齢者の理解 3. デイサービスを受ける高齢者の理解 4. 高齢者の生活の場として安全で快適に過ごせる環境の理解 5. 加齢に伴う変化と生活への影響の理解 6. 高齢者の日常生活援助の実際の理解 7. 高齢者を尊重する態度について		シニアカレッジ 21 時間 デイサービス 16 時間 特別養護老人ホーム 42 時間 実践活動外学習 11 時間		兵庫県阪神シニア カレッジ 通所介護施設 特別養護老人ホーム	
評価方法	実習終了後に実習評価表に基づき、実習内容および記録より評価する。				
評価基準	60 点以上で合格				

授業科目	老年看護学実習Ⅱ	単位数	2	時間数	90
担当講師 (実務経験)	専任教員 実習指導者（臨床看護師）				
科目目標	1. 周手術期にある老年期の患者を理解する。 2. 手術療法を受ける老年期の患者の生命維持、苦痛の緩和、回復を促すための看護を実施する。 3. 看護の体験を通して手術を受ける老年期の患者の看護について考える。 4. 専門職業人としての基本的態度を養う。				
	授業内容	授業方法	場所		
	1. 実習オリエンテーション 2. 術前の情報から患者の手術に伴う潜在的リスクのアセスメントと合併症予防の援助 3. 術後合併症の観察及び予防の援助 4. 患者の手術に伴う身体的・心理的・社会的状況の理解 5. 出現している症状・治療に伴う苦痛の緩和の援助 6. 立案した共同問題に基づき術後合併症の観察及び予防の援助を看護師とともに実施 7. 患者自らが獲得しなければいけない合併症を回避するための日常生活の方法や自己管理に向けて看護計画を立案し実施 8. 周手術期看護についてのまとめと3週間の実習の評価	病院実習 80時間 実践活動外学習 10時間	関西労災病院		
評価方法	実習終了後に実習評定表に基づき、実習内容および記録より評価する。				
評価基準	60点以上で合格				

授業科目	小児看護学実習	単位数	2	時間数	90
担当講師 (実務経験)	専任教員 実習指導者（小児科外来看護師 保育士等）				
科目目標	1. 健康な乳幼児の成長発達を支援する保育の在り方について実践を通して学ぶ。 2. 健康な学童の成長発達を支援する遊びと学習について実践を通して学ぶ。 3. 外来受診時の子どもと家族の反応を理解し、小児看護の基本的な考え方を学ぶ。 4. 子どもと家族に関わる基本的態度を養う。				
授業内容		授業方法		場所	
1. 保育所における乳幼児の生活環境の理解 2. 乳幼児期の成長発達の特徴と支援についての理解 3. 保育所における子どもの発達を支援する養護についての理解 4. 児童ホームにおける学童期の生活環境の理解 5. 学童期の成長発達の特徴と支援についての理解 6. 学童期における遊びまたは健康教育の企画 7. 外来受診における看護、子ども・家族の反応の理解 1) 診察時の看護 2) 予防接種時の看護 3) 乳幼児健診時の看護、乳児の身体計測 8. 小児看護の目的・役割についての考察 1) ヘルスプロモーションの視点 2) 権利擁護の視点 3) 緊張緩和のための看護の視点 4) 感染・安全管理の視点		保育所実習 28 時間 児童ホーム 16 時間 病院外来実習 32 時間 実践活動外学習 14 時間		尼崎市立保育所 計 20 カ所 尼崎市児童ホーム 計 6 カ所 関西労災病院 小児科外来	
評価方法	実習終了後に実習評価表に基づき、実習内容および記録より評価する。				
評価基準	60 点以上で合格				

授業科目	母性看護学実習	単位数	2	時間数	90
担当講師 (実務経験)	専任教員（当該領域の臨床実務経験有 助産師） 実習指導者（臨床助産師・看護師）				
科目目標	1. 妊婦の身体的・心理的・社会的変化をふまえた保健指導の必要性が理解できる。 2. 褥婦の身体的・心理的・社会的変化が理解できる。 3. 産褥期の正常な経過および母親役割獲得のための援助ができる。 4. 新生児の生理的变化が理解できる。 5. 新生児の胎外生活適応を促進するための援助ができる。 6. 実習中の体験を通して、産褥早期の母子への看護について考える。 7. 専門職業人としての基本的態度を養う。				
	授業内容	授業方法	場所		
	1. 妊婦および胎児のヘルスアセスメント 2. 妊婦の身体計測 3. 褥婦と新生児のヘルスアセスメント 4. 褥婦と新生児の健康診査技法 5. 褥婦の全身回復・子宮復古促進のための援助 6. 褥婦が希望する授乳方法への援助 7. 愛着形成を促進するための援助 8. 新生児の日常生活援助 9. 母親役割促進のための看護についての考察	母子受け持ち実習 62 時間 妊婦健診実習 7 時間 実践活動外学習 (産褥集団指導案作成 および模擬指導他) 21 時間	関西労災病院 産婦人科病棟 産婦人科外来		
評価方法	実習終了後に実習評定表に基づき、実習内容および記録より評価する。				
評価基準	60 点以上で合格				

授業科目	精神看護学実習	単位数	2	時間数	90
担当講師 (実務経験)	専任教員 実習指導者（各実習場所の臨床看護師）				
科目目標	1. 疾病や治療、環境要因が精神状態に及ぼす影響を知り、精神に障がいを持つ人を理解する。 2. 精神に障がいを持つ人の行動の意味を踏まえ、必要な看護が実践できる。 3. 精神に障がいを持つ人との関わりを通して、自己の傾向に気付くことができる。 4. 精神に障がいを持ちながら地域で生活している人を通して、社会支援の実際について知る。 5. 専門職業人としての基本的態度を養う。				
	授業内容	授業方法	場所		
	1. 疾患と精神状態が日常生活に与える影響について 2. 患者の生活行動の把握、行動の意味の推測 3. 日常生活の自立の程度のアセスメント 4. 治療の場、生活の場としての環境のあり方と安全管理 5. 患者の健康的な側面を踏まえ、日常生活の自立に向けた関わり 6. 対人援助における自己の傾向 7. 精神に障がいを持ち、地域で生活すること 8. 地域生活を支える制度やサポート 9. マイクロカウンセリング技法	病院実習 80 時間 実践活動外学習 10 時間	関西労災病院 精神科・心療 内科外来 有馬病院		
評価方法	実習終了後に実習評定表に基づき、実習内容および記録より評価する。				
評価基準	60 点以上で合格				

授業科目	統合実習	単位数	2	時間数	90
担当講師 (実務経験)	専任教員（臨床実務経験有） 実習指導者（看護師長 看護師長補佐 臨床看護師）				
科目目標	1. 複数の患者を受け持ち、ケアの優先度を判断し、計画的に安全に実施する。 2. 看護単位の看護管理の実際を知る。 3. チーム医療の中で他職種との連携・調整の実際を知る。 4. 専門職業人としての基本的態度を養う。				
授業内容		授業方法		場所	
1. 複数患者のケアの安全な実施 2. 多重課題に対する優先順位の決定と時間管理 3. 病棟単位での看護管理の実際 4. チームナーシングとメンバーとしての役割 5. 他職種との連携・協働 6. 看護チームの一員としての報告・連絡・相談		病院実習 80 時間 実践活動外学習 （紙面事例を用いた 複数患者のケアの優 先度判断の演習他） 10 時間		関西労災病院	
評価方法	実習終了後に実習評定表に基づき、実習内容および記録より評価する。				
評価基準	60 点以上で合格				